

I. 休憩施設における駐車マス拡充

○高速道路の休憩施設において顕在化している駐車エリアの混雑の緩和を図るため、駐車マスを拡充するとともに、利用の平準化の取り組みを推進

1. 駐車マスの拡充〔平成30年度～令和2年度〕

- 既設の駐車エリアの配置見直し等により、駐車マスを拡充
- 小型車と大型車双方で、弾力的・効率的に利用可能な兼用マスを整備

2. 駐車箇所の利用平準化の推進（令和2年度以降）

- ETCを活用、駐車場の車種別満空情報をリアルタイムで把握できるシステムを東名・新東名のすべての休憩施設に整備
- AIによる予測技術などを活用し、情報板・WEBサイトにより駐車場の満空情報や休憩施設の混雑情報等のきめ細やかな提供を検討

NEXCO 3社の駐車マスの拡充数		
平成30年度整備 (26箇所)	令和元年度整備予定 (34箇所)	令和2年度整備予定 (52箇所)
約520台	約1,350台	約810台

〈兼用マスイメージ〉



〈情報板での表示例〉



〈Webサイトでの情報提供 (i-highway中日本)〉



II. ダブル連結トラック用の駐車予約システムの導入

- ダブル連結トラックの確実な休憩スペースの確保のため、運行便数が多く、休憩ニーズが高い箇所に駐車予約システムを試行導入
- ETC2.0を活用し、予約車の出退および適切な駐車を管理

1. 路外駐車場の整備（令和2年度末）

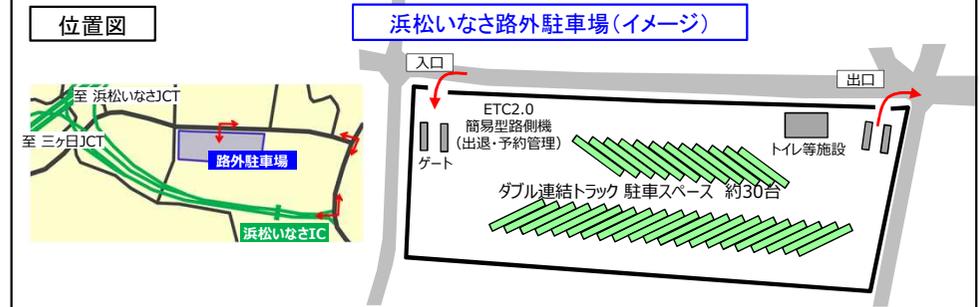
- 東京・大阪の中間地点となる浜松いなさIC外に予約駐車スペースを整備
- 出退については、出入口のETC2.0対応ゲートで管理

2. 休憩施設における予約システムの導入（令和2年度末から順次）

- 足柄SA(上り)、静岡SA(上下)、土山SA(上下)に予約駐車スペースを整備
- ETC2.0対応路側機及び情報板、監視カメラ等により、予約車の駐車等を管理



〈路外駐車場(浜松いなさIC)〉



〈サービスエリア・パーキングエリア〉

